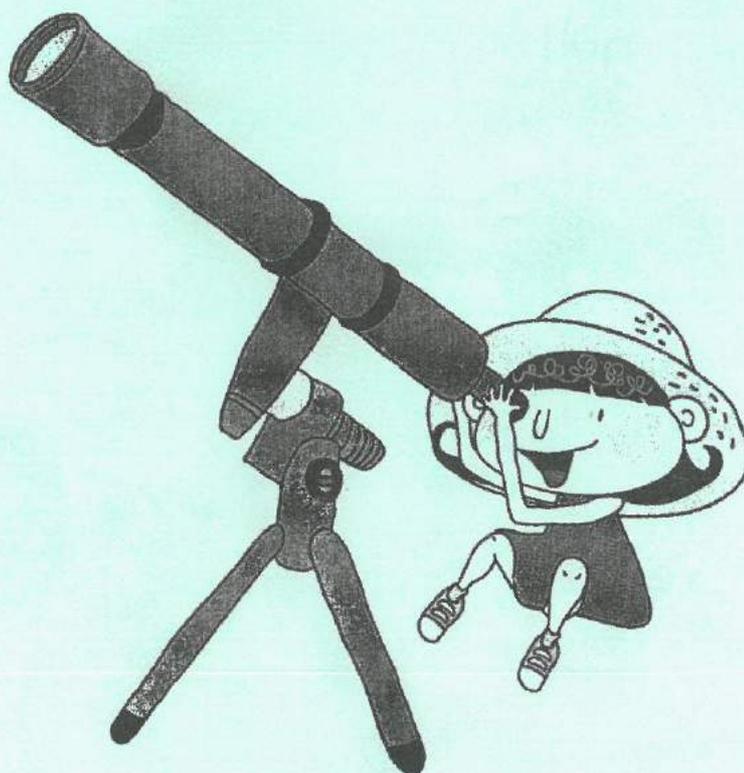


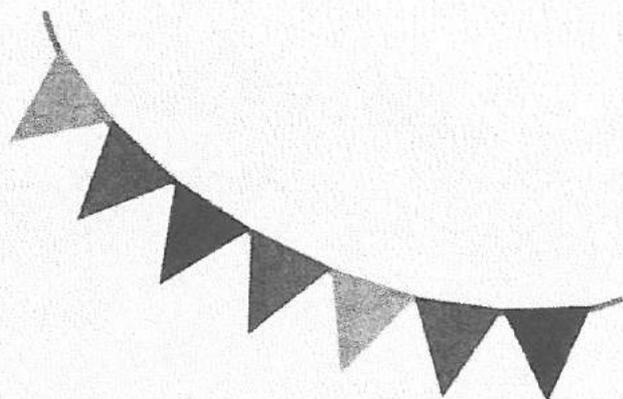


国際文化学部

Faculty of Intercultural Communication

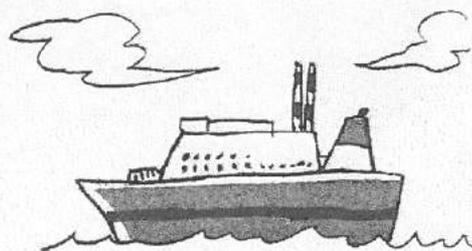


もくじ



● What is 国際文化学部？	1
● 4つのコース	2
● 法政大学の国際系学部学科比較	3
● 国文生の1週間	4
● 国文ならではの！授業紹介	7
● SA 先大学紹介	8
● 4年間の学び	16
● 受験生の1年間！	17
● 受験科目別対策	19
● 学生座談会	20
● スタッフからのメッセージ	23

国文とは
国際文化学部の
略称だよ♪



What is

国際文化学部？



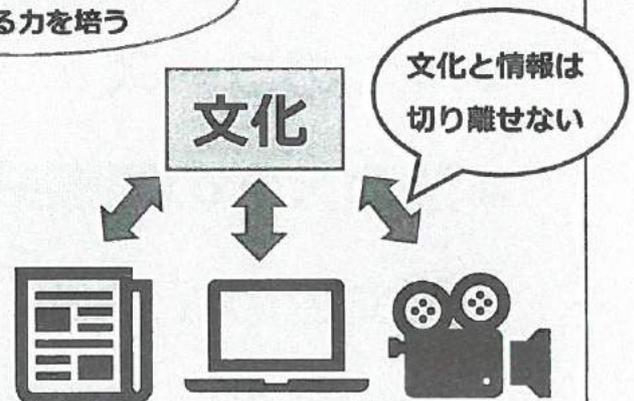
Faculty of Intercultural Communication

「文化」をキーワードに国際的な観点から多様なテーマについて学びます。

ICT 情報発信能力

世界の国際化と情報化に
対応する力を培う

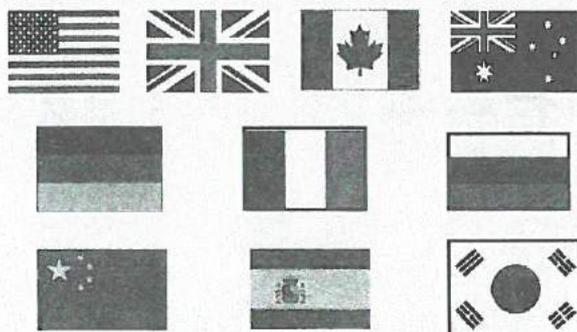
文化と情報の密接な結びつきを重視し、
情報コミュニケーション技術(ICT)を
活用した文化情報の受発信ができる人材の
育成を目指しています。そのため Word や
Excel など、コンピューターの基本的な知識を
身に付ける授業が必修となっています。



SA(留学)制度

実際に異文化を肌で感じて理解できるよう、2年次の
秋学期に全員に海外留学が義務づけられています。
これを「Study Abroad program」略してSAと
呼んでいます。

SA先は10か国15大学から選ぶことができます。



全員が「留学」という目標を持って
大学生活をスタートできる

少人数教育

語学や演習(ゼミ)など、
少人数の授業が
多くあります。

教員の丁寧な
サポート

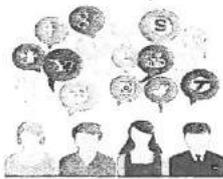
アットホームな雰囲気
で
充実した学生生活

4つの コース制

詳しくは次のページへ

自由を選ぶ！

4つのコース

<p>情報文化コース</p> <p>情報リテラシーを身に付け、 情報処理に関する高度な知識と 能力を習得します。</p> 	<p>表象文化コース</p> <p>映画、アニメ、音楽、ダンス、 映像などの視覚や聴覚表現の 効果や仕組みを勉強します。</p> 
<p>コンピュータ HTML 統計学 SNS ビッグデータ Pure Data Flash プログラミング 画像加工 Webデザイン Office 人工知能 情報産業 アプリ制作 バーチャルリアリティー インターネット</p>	<p>音楽 ダンス 映像 CM 美術 メディア 文学 漫画 映画 演劇 オペラ 能・狂言 映像制作 建築 空間デザイン 小説 サブカルチャー 写真 広告 アート</p>
<p>言語文化コース</p> <p>言語のスキルを磨き、 各文化に特有の文化を掘り下げ、 文化の多様性を追求します。</p> 	<p>国際社会コース</p> <p>地域や国を横断する国際 社会の交流とその仕組み、 問題点や解決法を探求します。</p> 
<p>中国 朝鮮 ドイツ 東欧 フランス ロシア スペイン アジア アフリカ カタール・ニヤ 英語圏 言語 異文化コミュニケーション 伝統芸能 異文化理解 翻訳 世界遺産 比較文化 国際文学 歴史思想</p>	<p>国際関係学 多国籍企業 国際開発 民族 エスニシティ 多文化社会 グローバリ化 国家 宗教 平和学 地域統合 移民 ジェンダー 紛争 政治 人権 発展途上国 観光 インバウンド</p>

☆コース内容の下に書かれているのはそれぞれの関連ワードです。気になるワードに丸をつけてみましょう！

Q. 入学してすぐにコース登録をするの？

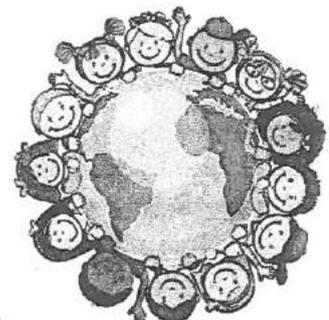
A. コース登録は2年生になる時です。

1年生のうちに、授業を通して自分の興味のある分野を探することができます。

Q. 選んだコースの授業しか受けられないの？

A. いいえ、選択したコース以外の授業も受けることができます。

一つに絞り切れなくても心配ありません。様々な分野を幅広く学ぶことができます！



～法政大学の国際系学部学科比較～

国際系の学部に興味があるけれど、違いがわからないという人も多いのでは？

法政大学の国際系学部学科を比較してみよう！



① 国際文化学部

必修の留学制度や、言語に限らず国際問題・芸術・メディアなど様々な分野の授業を通じて**異文化を知り、情報スキルを使って、自国の文化を他者に発信する技術**を身につける。

★留学制度…2年次の秋学期に**全員必修**！期間は3～6か月。

② 文学部英文学科

主に英米文学を扱い、その作品の形式や内容の考察を行う。また、英語の音の構造や日本語との違い、英語が広まった歴史、時代による変化など、「**英語**」そのものについて幅広く学ぶ。

★留学制度…長期留学(約3～7か月)はアメリカまたはアイルランド、短期留学(3週間)はアイルランドに、書類選考と面接試験に**通過できた者のみ(短期は書類選考のみ)**留学可能。

③ 法学部国際政治学科

アジアの政治や外交を分析する**アジア国際政治コース**と**地球規模の戦争や軍事問題、人権**を学ぶ**グローバル・ガバナンスコース**の2コースに分かれる。

地球共生社会を実現するため、英語を通じて複雑な国際問題を把握できるグローバルな人材を目指す。

★留学制度…1年次の夏休みに**全員必修**で、イギリスまたはフィリピンで約10日間、短期研修を行う。

④ 人間環境学部グローバル・サステイナビリティコース

国際社会の動向について基本的な知識を身につけながら、学際的な学びとグローバル体験を通して、**気候変動(地球温暖化)**や**生物多様性、平和、貧困と開発**など多様なテーマについて探求する。

★留学制度…オーストラリアに短期留学(約2週間)、オーストラリアに長期留学(約4か月)が可能。年度によってハワイへの短期留学(約10日間)も選択可能。いずれも**定員制**。

⑤ グローバル教養学部(GIS)

文学・芸術・言語学・社会学・経済学・心理学・国際情勢といった内容の授業が**全て英語**で行われる。科目を限定しないことで、**幅広い教養**を身につけることができる。

★留学制度…現地の大学生と同じ授業を受ける正規留学。**希望者のみの参加**で、英語圏の4か国から選択できる。期間は国によって違い、4～10か月。

～ 国文生の 1 週間 ～

なんと、大学生は時間割を自由に組むことが出来ちゃうんです!! ☆
先輩はどんな 1 週間を過ごしているのか、学年別に覗いて見ましょう～

【 1 年生 】

PROFILE

- ◇ SA 先：諸外国語圏
- ◇ 出身地：東京都
- ◇ 通学時間：1 時間
- ◇ サークル：競技ダンス(インカレ)
- ◇ おすすめの授業：表象文化概論



1 年次の語学の授業について

英語 + 諸外国語

諸外国語は、ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語・中国語・朝鮮語から 1 つを選択します。SA 先の言語 3 コマ + 第二外国語 2 コマを受けます。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1 9:00~10:40	英語 2	情報 リテラシー I		英語 1	スポーツ 総合演習
2 10:50~12:30		情報 リテラシー II	ロシア語 1		
3 13:10~14:50	表象文化 概論	チュート リアル	ロシア語 5	教養数学 A	英語で学ぶ 社会と文化
4 15:00~16:40	国際文化 情報学入門	芸術 A	レポートの書き方やプレゼンの 仕方などを学びます!!		
5 16:50~18:30	ロシア語 2		国際文化 情報学入門		

必修科目

【 2 年 生 】

PROFILE

- ◇ SA 先：ミシガン州立大学(アメリカ)
- ◇ コース：表象文化
- ◇ 出身地：東京都
- ◇ 通学時間：40分
- ◇ 習い事：英会話
- ◇ バイト：ハンバーガーショップ
- ◇ おすすめの授業：ジェンダー論



2年次の語学の授業について

自分の SA 先の言語

2年生になると、自分の SA 先の言語に関する授業を週に4コマ受けて、SAに必要な語学力を身につけていきます。

2年生になると、4つのコース(情報文化・表象文化・言語文化・国際社会)の中から自分の学びたいコースを1つ選択します。※選択したコース以外の授業も受けることができます。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1 9:00~10:40		心理学 I		English presentation	統計処理法
2 10:50~12:30	文化人類学	仮想世界研究		英語 8	英語検定試験対策
3 13:10~14:50	社会学 LA	サブカルチャー論	英語コミュニケーションⅢ	ジェンダー論	
4 15:00~16:40		英語 7	英語コミュニケーションⅡ	ネットワーク基礎	
5 16:50~18:30				情報も学びます！	

必修科目

【 3 年 生 】

PROFILE

- ◇ SA 先：リーズ大学(イギリス)
- ◇ コース：表象文化
- ◇ 出身地：東京都
- ◇ 通学時間：1 時間
- ◇ サークル：サッカー
- ◇ バイト：スポーツ事務の受付
- ◇ おすすめの授業：応用言語学



ゼミについて

3 年生になるとゼミに入ることが出来ます。
ゼミとは自分が学びたいテーマについて、
その専任教員のもとで学生が主体となって
学習することです。少人数で展開されま
す。

3 年生になると必修科目がなくなります。

そのため、より自由に時間割を組むことが出来て専門的な授業を受けられます。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1 9:00~10:40	空いている時間は、 資格取得の為に勉強しています。				
2 10:50~12:30					
3 13:10~14:50	情報論理学		言語学	ジェンダー 論	ポピュラー 音楽論
4 15:00~16:40	衣笠ゼミ		世界の中の 日本文学	日英翻訳論	応用言語学
5 16:50~18:30	身近な文化について 話し合うゼミです。				

国文ならではの！授業紹介



大学の授業は高校の授業の約2倍の100分授業！

語学の授業は少人数で、内容は講義・グループワーク・ディスカッション・プレゼンテーションなど様々。成績は、小テスト・レポート・試験などで決まる！

情報文化コース

「メディア情報基礎」

画像処理、映像制作のソフトを備えた実習設備を活用しながら作品制作を行うことで、インターネット環境において文化情報を発信する能力を身につける。

表象文化コース

「ポピュラー音楽論」

アメリカの音楽文化を社会とのかかわりにおいて考察し、様々な音楽ジャンルがどのように形成され発展してきたかを学ぶ。

語学の授業はもちろんあるよ！

英語の授業では文献を読んだり、エッセイを書いたりするよ。諸外国語の授業では、文法・単語など初級から学べるから安心。ネイティブスピーカー教員の授業もあるよ！

英語圏に留学する人は第1言語が英語、諸外国に留学する人は自分の留学先の言語が第1言語になるんだ！もちろん第2言語も選択できるよ。

<諸外国語・・・ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語>

* 諸外国に留学する場合は第2言語は英語になります。



言語文化コース

「日英翻訳論」

松尾芭蕉など様々な日本文学の名作を英訳し、英作文の力を身につけ、日本語の特徴を学ぶことができる。

国際社会コース

「異文化適応論」

アジアと欧米圏の比較研究に基づき、心の感情の働き方や、行動パターンと文化の関連性について学ぶ。

〈SA先大学紹介〉

国際文化学部で必修の留学制度、SA(Study Abroad program)。どんな国に留学して、どんなことを体験するのかな？経験者に聞いてみました！その前に、まずはSAの基本情報をチェック！



Q1. SAとは??

A. 2年次に学生全員が体験する留学プログラムです！10か国15大学の中からいずれかの大学に留学します！

Q2. どのくらいの期間行けるの？

A. 留学先の大学によって異なります！期間は3か月半～6か月で、寮かホームステイかも留学先で異なります！

Q3. 費用は？

A. 留学費用はかかるけど、留学に行く2年次秋学期は法政大学の学費は払わなくていいシステムになっています！奨学金の支給もあります！

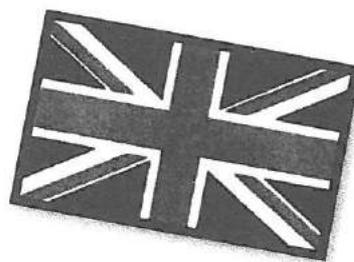
それでは、SA先の大学はどんなところがあるのか、一校ずつ見ていきましょう！

イギリス

〈リーズ大学〉

期間：9月下旬～2月下旬

宿泊形態：学生寮

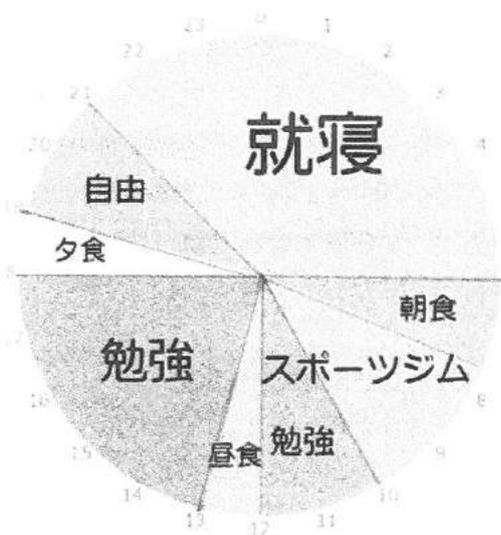


☆選んだ理由

英語圏の留学先の中で最も期間が長く、また、宿泊形態が学生寮なので現地の学生とコミュニケーションをとる機会が増えると思ったからです。さらに、クリスマス休暇中にヨーロッパへ旅行できるのも魅力的でした。

☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

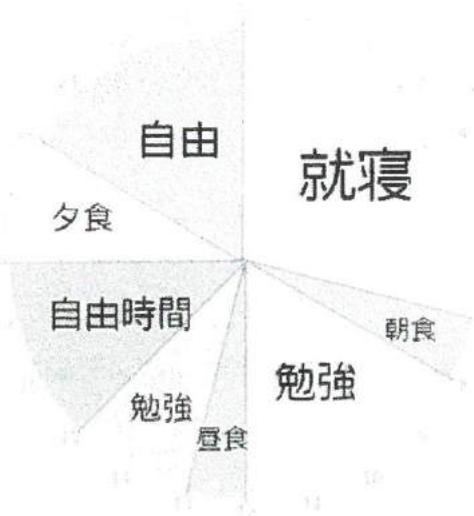
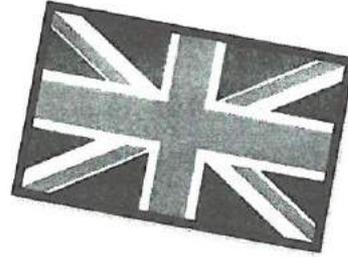
リーズ大学は学生都市の中心に位置しているのでショッピングなどもしやすく、また、イギリスの主要都市へのアクセスも非常にいいです。またリーズ大学は寮生活なので、フラットメイトとの会話など現地の学生の生活を体験することができます！特に印象に残っているのは、授業後にクラスメイトのアラブ人と一緒にサッカーを楽しんだことです！



<シェフィールド大学>

期間：9月下旬～2月上旬(2018年度は12月中旬まで)

宿泊形態：ホームステイ



☆選んだ理由

以前からイギリスに興味を持っていて、留学をするならイギリスにしたいと思っていたからです。また、宿題が少ないと聞いていたのでその時間を現地の文化体験に使えると思ったからです。

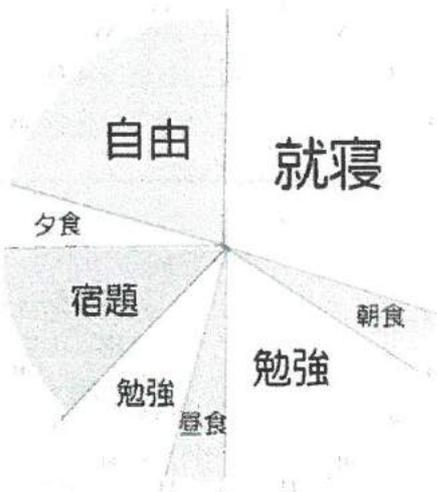
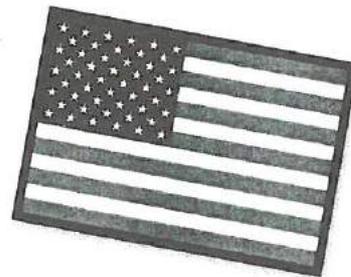
☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

シェフィールド大学は国際色豊かで平和でした。一番楽しかった授業は毎週水曜日のレクチャーです。毎回プレゼンターとテーマが違い、参加型で賑やかでした。また、シェフィールド大学の宿泊形態はホームステイなので、日常生活のなかで英語を使う環境が整っていて英語を勉強するにはもってこいでした！

<ミシガン州立大学>

期間：8月中旬～12月中旬

宿泊形態：学生寮(週末ホームステイ)



☆選んだ理由

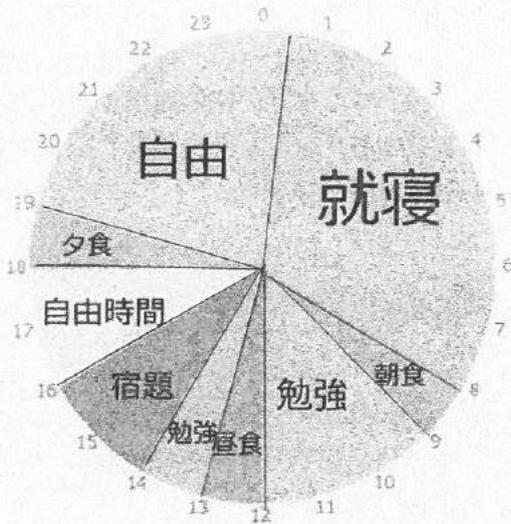
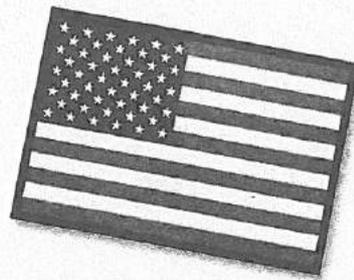
留学先の中で唯一、学生寮とホームステイを経験できることがとても魅力的でした。週末はホームステイで現地の生活を体験でき、平日は寮で学生生活を堪能できると思ったからです。

☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

街は国際色豊かかつ自然豊かな街でした。印象に残っている授業は一日使ってクラスメイトと行ったフィールドワークです。クラスメイトの家で行ったパーティーや、ホストファミリーと参加したマラソン大会も思い出に残っています。

<カリフォルニア大学デイヴィス校>

期間：8月上旬～12月中旬
 宿泊形態：ホームステイ



☆選んだ理由

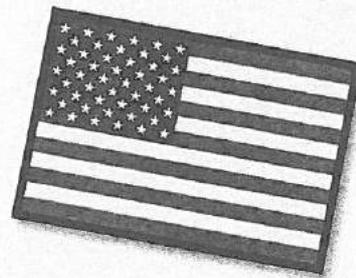
以前からアメリカに興味があったので、アメリカの大学から選ぼうと思っていました。カリフォルニア大学デイヴィス校を選んだのは、田舎の雰囲気も都会の雰囲気も味わえると聞いていて、勉強も遊びも充実できると考えたからです。

☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

街の雰囲気は明るく学校の周りには程よく飲食店などがありました。一番楽しかった授業は、日本ではあまり行わないディベートの授業です。また、授業の宿題でインタビューをしたときは、日本人はなかなか思いつかない考えを知ることができて楽しかったです。

<ボストン大学>

期間：9月上旬～12月中旬
 宿泊形態：学生寮



☆選んだ理由

寮生活で年齢の近い外国人とルームシェアをして生活してみたかったからです。また、ボストンは交通の便がよく、色々な場所に足を運べると聞いていたからです。

☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

ボストンはとても多文化な社会で、多様な人種の人と触れ合えました。また、街で声をかけてくれる人も多く、外国人に寛容でした。飲食店やスーパーも充実していて治安も良く、学生街だったので安心して生活できました。

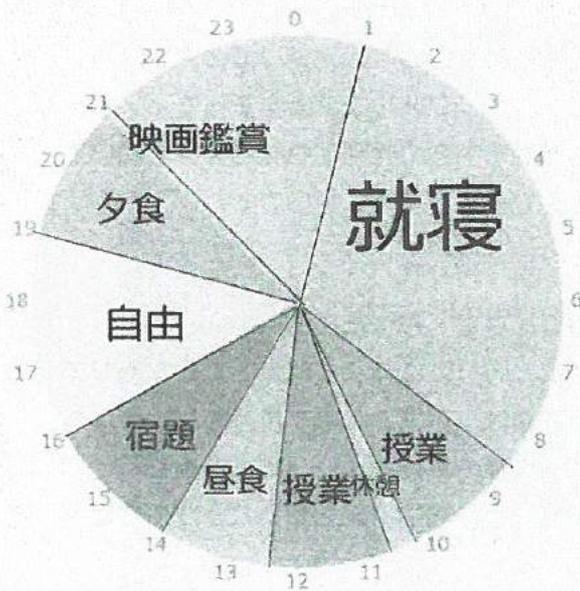
カナダ



<ヨーク大学>

期間：8月下旬～12月中旬

宿泊形態：ホームステイまたは学生寮



☆選んだ理由

大学のプログラムが厳しいと言われるくらい、勉強面がしっかりしていると聞いていたからです。また、留学費用が安いことや、アメリカに近い、カナダのメインシティであるトロントに大学が位置するところに惹かれたからです。

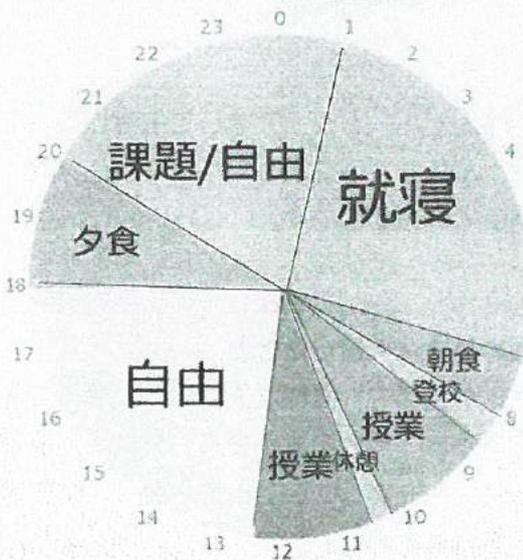
☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

ほとんどの公共施設で Wi-Fi が利用可能で、インターネット通信の環境が充実していると感じました。また、トロント市内は、バスの 24 時間営業、配車サービスの充実、空港が都市に隣接していることから、迷うことなく、かつ安価に移動でき、東京より便利であるように思いました。

<トレント大学>

期間：8月下旬～12月中旬

宿泊形態：学生寮



☆選んだ理由

留学費用が安かったことと、治安が良く、多国籍文化であったことが決め手になりました。また、宿泊形態が寮で一人部屋が与えられると聞いていたので、寮の友達と関わる時間と一人の時間を両方もしっかり持てるのが魅力的だったからです。

☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

行く前に想像していた、肌の白い「カナダ人」というイメージの人がほとんどいなかったことです。国内には多種多様な人種や国籍を持つ人がいて、留学してきた自分がマイノリティであると感じることはありませんでした。街としては、大学の周辺は自然が豊かでした。トロントの中心はとても栄えていて、東京にも似た雰囲気を感じました。

<ブロック大学>

期間：9月上旬～12月中旬
 宿泊形態：ホームステイ

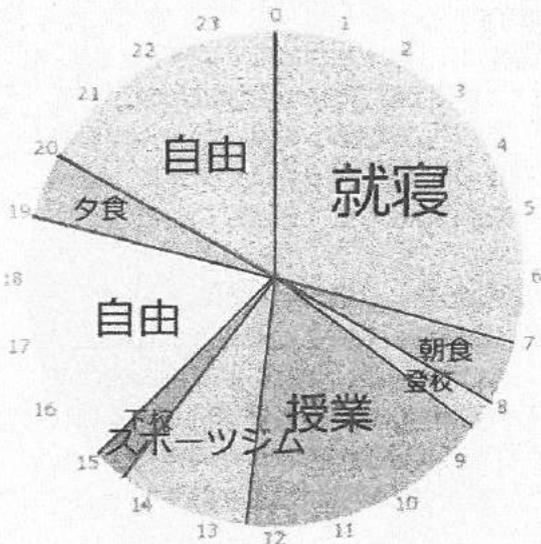


☆選んだ理由

カナダは自然豊かで治安も良く、英語の発音もなまりが無いと聞いていたので、カナダの中から選びたいと思っていました。ホームステイであること、費用がちょうど良いこと、中規模大学であるため本キャンパスの現地の学生とも関われると思ったこと、9月にあるぶどう踏み祭りに興味を持ったことから、ブロック大学を選びました。

☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

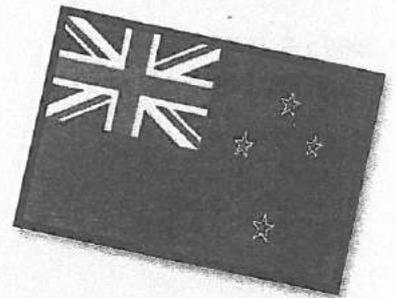
自然豊かで皆穏やかだったので勉強するには最適でした。とても治安が良かったです。ダウンタウンの店が閉まるのが早かったのは驚きました。カナダの人は皆優しくフレンドリーで、色々なところに連れて行ってくれたホストファミリーは特に親切にしてくれました。



オーストラリア

<モナシュ大学>

期間：8月上旬～12月中旬
 宿泊形態：ホームステイ

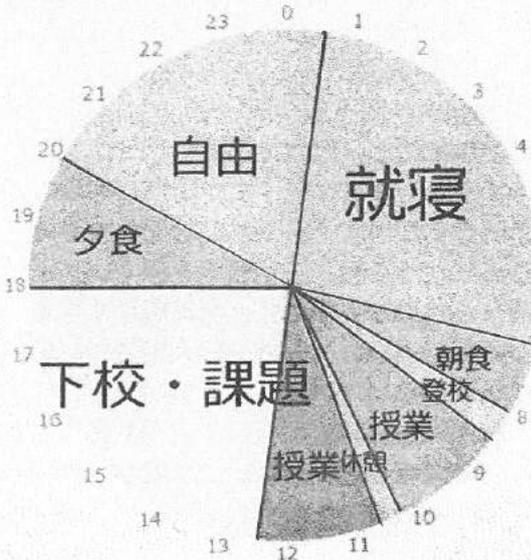


☆選んだ理由

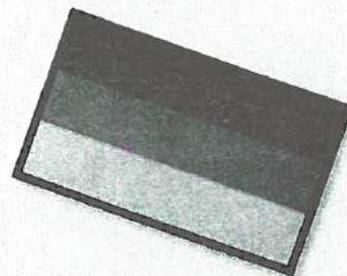
滞在期間が比較的長く、ホームステイがしたかったからです。また、SA先の中で唯一の南半球で、日本には無い風土を味わってみたかったからです。

☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

本当に多国籍国家だと実感しました。街を歩いているだけで世界一周旅行ができると言われていますが、まさにそのようだと感じました。また、バスを降りる時などに必ず大きな声で“Thank you!!”と言っていたのが、日本では無い光景で驚き、心温まりました。



ドイツ



<ロイファナ-リューネブルク大学>

期間：9月上旬～2月下旬

宿泊形態：フラットシェア（学生のシェアハウス）

☆選んだ理由

ヨーロッパの文化に興味があったため、ヨーロッパの中心に位置するスイスで学びたいと思ったからです。また、スイスの公用語は一つではなく、地域ごとに4言語圏に分かれているため、どのように共生しているのか気になったからです。高校生の時にフランス語圏に行ったため、ドイツ語圏とはどのような違いがあるのか知りたくて選びました。

☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

誕生日は誕生日の本人がパーティーを主催することや、日本とは逆にクリスマスは家族と、年越しは友達と過ごすのが一般的であることに驚きました。交通機関については、自転車を持って電車に乗ることができました。また、教会に実際に行ったことで、ドイツの教会は装飾が質素な一方、スイスは金色など豪華に装飾されていると気付きました。

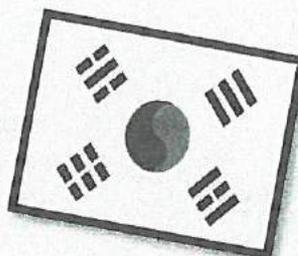
※ロイファナ-リューネブルク大学は2019年度から実施のプログラムで実例が無いため、右のアンケートは2017年度実施のザンクトガレン大学（スイス・ドイツ語圏）のものを記載しています。

<韓国外国語大学>

期間：8月下旬～2月下旬

宿泊形態：学生寮

韓国

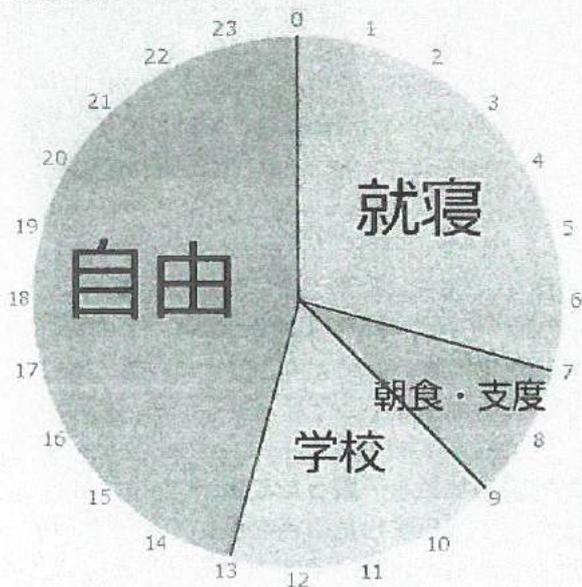


☆選んだ理由

高校生の頃から韓国語を勉強していて、大学でも引き続き知識を深めたいと思って法政大学に入学を決めたので迷いはありませんでした。少人数かつSA韓国担当の先生が非常に親身なってサポートしてくださったのでより安心して臨むことができました。

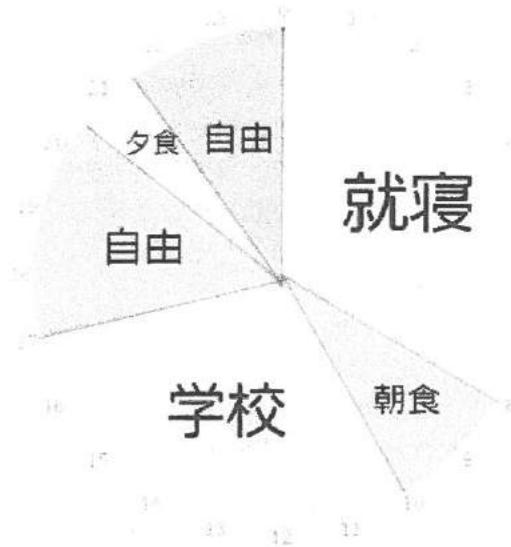
☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

近年は日本で韓国の物が流行っていて、文化交流が活発な国ですが、それによる偏った良いイメージが打ち消される6ヶ月でした。思ってもみなかったところで日本と似ている面も多くあり、実際に暮らして分かる事の多さを実感しました。外大前という最寄り駅名の通り、韓国外国語大学のためにあるような街です。こじんまりしていますが、慶熙大学とも徒歩の距離で、東大門などへも乗り換えなしでアクセスできます。学生街という事で飲食店の価格帯も安いですし、非常に多様です。また地元の方々も外国人の拙い言葉に対する理解があるように感じました。

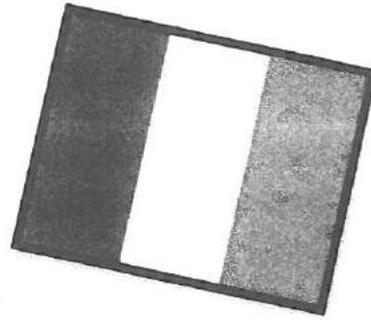


<西部カトリック大学>

期間：9月中旬～2月上旬
宿泊形態：ホームステイ



フランス



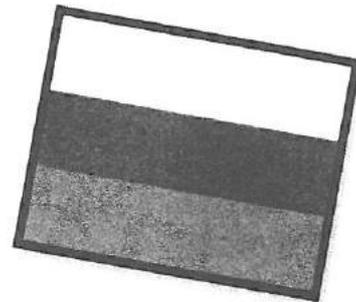
☆選んだ理由

グローバル化が進み英語話者が増えている中、自分の強みになる言語が欲しいと思い諸外国語圏を選びました。その中でフランスを選んだ理由は、その悠久な歴史と多彩な文化に実際に触れたいと思ったからです。

☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

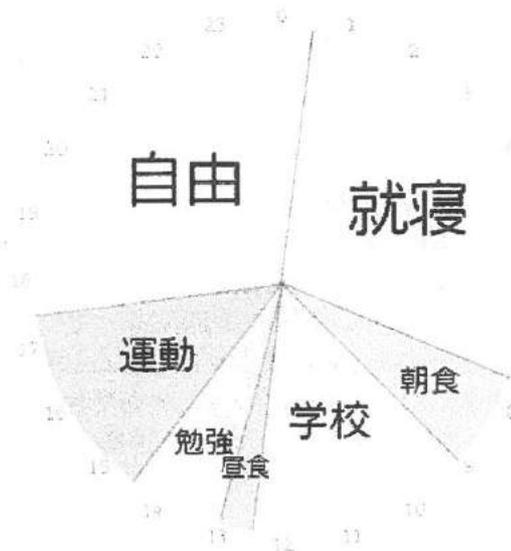
フランスと日本の違いが多く、毎日新しい発見ができて新鮮でした。特に、フランス人の家族のあり方には強い憧れを持ちました。その家族関係が成立するにはフランス人の働き方が大きく影響しています。そういったことを毎日発見して、生まれ変わったらフランス人になりたいなあと思いました。

ロシア



<ペテルブルク国立交通工科大学>

期間：8月下旬～2月上旬
宿泊形態：学生寮



☆選んだ理由

高校からロシア語を勉強していて、もっと語学力を向上させたいと思ったから為です。入学前からずっと決めていました。

☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

ロシア語を理解するよりも、ロシア人の心理を理解する方が難しいと気付かされました。そして、多少の事では動揺しないタフな心身を手に入れたと思います。寒さにも少し強くなった気がします。街のイメージはやはり日本とは違う美しさがあるにはあり、魅力的でした。しかし、障害者にとってはとても暮らしていく国だなと思いました。バリアフリーの設備はあるのですが、問題なく身体障害者が暮らすには難しいと思います。公共の場で身体障害者は珍しいのか、注目を集めていました。

スペイン

<バルセロナ大学>

期間：9月上旬～2月上旬

宿泊形態：学生寮

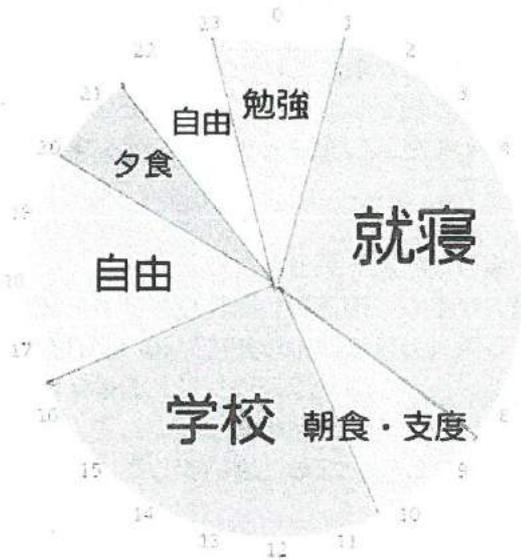


☆選んだ理由

多くの方が英語を第一外国語とする中、諸外国語であるスペイン語を第一言語として学ぶかの選択を迫られたときにせっかくスペイン語を始めるなら、中途半端にではなく、留学をするという明確な目標を持った上で学習に取り組みたいと考え、第一外国語としてスペイン語を学習することにしました。

☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

日本で普段何気なく享受しているサービスによって、自分は快適に過ごせているのだとたくさんの場面で気づくことができました。レストランでお水やおしぼりが提供されること、どこのトイレも綺麗であること、街の清潔さ、正確な時間で動く公共交通機関、そして何より安全からくる安心感…日本はダントツだと感じました。「スペインがひどい」ということではありませんが、海外に滞在することによって母国の良さに気付くきっかけを得ることができました。それは誇りにも繋がるので、とても大事なことのように感じました。



中国

<上海外国語大学>

期間：9月上旬～1月中旬

宿泊形態：学生寮

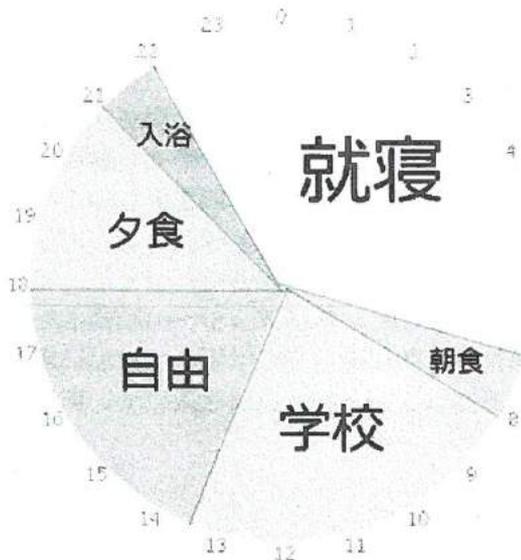


☆選んだ理由

英語の次は中国語だなと思ったからです。

☆実際に行ってみて感じたこと・思ったこと

ニュースの報道で言われているような反日の態度をとられることはなく、私に関わった中国人は皆優しく、とても感じが良かったです。空気もきれいで、交通の便がとても便利で本当に住みやすかったです。実際に中国に住んでいる中国人と他の国に住んでいる中国人の中国語は、全然違うということを知りました。



とある国際文化学部生の… 4年間の学び

大学って4年間もあるけど、実際どんな風に成長していけるのかな？ここでは、とある4年生が過ごしてきた大学生活を、一例としてご紹介します◎

国際文化学部4年 ぱん の場合…

SA先：イギリス リーズ大学
サークル：アウトドア

コース：表象文化コース
アルバイト：テーマパークスタッフ



宝塚歌劇が
好きです！

<1年生>

*大学に入ってみて、授業はどうでしたか？

必修科目が多くて大変でした。でも、その中で段々と**自分の興味**がある分野がわかってきました。また、**第2外国語**で履修した**朝鮮語**では、話せるフレーズや書ける単語が増えていくことが楽しかったです。もっと韓国について知ってみたいと思うようにもなりました。

<2年生>

*1年生の頃と変化したことはありましたか？

1年生で受けた授業から**美術や映像**に興味を持ち、2年生の**コース選択**で**表象文化コース**を選択しました。必修科目が減ったので、より自分の興味に合わせて授業を選べるようになりました。

*秋学期の留学はどうでしたか？

異文化の中での生活や、人との関わりを通して、自分の**価値観や視野**が広がっていくのを感じました。もっと広く**世界**について知りたいと思いました。

<3年生>

*国際文化学部では3年生からゼミに入れますね！

私は、これまで授業を受けてきて興味を持ったアートに触れたくて、「アートを通して国際社会を分節する」というテーマの熊田・桐谷ゼミに入りました。ゼミでは、留学を通して大事だと感じた、「**自分が当たり前だと思っていることを疑う姿勢**」を深めることができていると感じます。

*留学を終えてどんな授業を履修しましたか？

いろんな国の文化を学びたいという思いから、「ロシア・東欧の文化」、「英語圏の文化Ⅲ」、「東南アジアの文化」、そして1年生の時にもっと知りたいと思った、「朝鮮語圏の文化Ⅰ」も履修しました。(これらは言語文化コースの授業です。選択したコース以外の授業も履修可能◎)

<4年生>

*4年生になって、授業はどうですか？

3年生で異文化の授業を多く受講し、国ごとに違いがあることが面白くて、今学期は「ドイツ語圏の文化Ⅰ」を履修しました。ゼミでは2万字の**卒業論文**を作成している最中です。2年生のとき「**間文化性研究翻訳論**」の授業で**翻訳の限界**に興味を持ったことと、趣味で演劇を観に行くことから、海外ミュージカルが日本に輸入され、翻訳される際の工夫や問題点について研究しています。



한국에 가고 싶다!



これまで学んできたことが今に繋がっているんですね！しかし、これはほんの一例。国際文化学部では、**文化をキーワードに多様なテーマについて学べます**。様々なことに興味を持った学生がいて、学部内でも何を学ぶかは人それぞれ、十人十色です！あなたはどんな4年間にしたいですか？◎

受験生の1年間！



国際文化学部の10の入試方式の中から、今回は3つ取り上げて、今の国際文化学部1年生が受験生の1年間でどのようにして過ごしたかについて紹介します！

国際文化学部の入試方式

一般入試T日程（統一日程） / 一般入試A方式（個別日程） / センター試験利用入試B方式 / 分野優秀者特別入試 / SA自己推薦特別入試 / 指定校推薦入試 / スポーツに優れた者の特別入試 / 付属校推薦入試 / 外国人留学生入試 / 日本語教育プログラム修了生入試

☆一般入試（T日程・A方式）



- ～夏前……** この時期まで部活をやっていた人もおり、多くの人がここで受験モードへ切り替え！志望校や入試で使う科目を決め始め、受験期間までの勉強計画を立てる。
- 夏休み……** 塾の夏期講習や高校での補講をうまく活用し、だらけず長時間勉強することに慣れる。秋以降はまとめて復習する時間があまりないので、徹底的に基礎を固める。また、過去問題にも挑戦し、自分の足りない分野を洗い出す。オープンキャンパスに行きモチベーションを上げた人も多かった。
- 秋……** 参考書や過去問題を使った勉強を始める。苦手分野の強化だけではなく、英語の長文や国語の記述対策も行う。社会は全て覚えるくらいの勢いで教科書を読み込む。歴史の教科書を4周したという人も。この時期の模試の結果が悪かったとしても、ここからまだ伸びる！間違えた所の復習をしっかりと、判定等は気にしすぎないようにしよう。
- 冬休み……** 国公立大学と併願していた人も多く、この時期にセンター試験対策をしていた人が多い。過去問題をひたすら解き、見直すことで自分のものに。苦手分野の克服はこの時期まで。
- 受験期間……** 志望校ごとの赤本を繰り返し解く。また、体調管理には十分に気を付ける。深夜に一時間粘るより、次の日に一日集中した方がずっと効率的。社会など暗記科目は最後の最後まで伸びるので、諦めず最後まで信じて頑張る。重要事項などを一つにまとめたノートなどで最終確認をする。

SA 自己推薦特別入試

ドイツ・フランス・スペイン・ロシア・中国・
韓国いずれかの言語圏の文化に強い関心を
持ち、留学を希望する者

- ～夏前**…… 高校の先生とも相談し、志望校を定め始める。高校の試験に力を入れる。
- 夏休み**…… 一般入試のことも意識していた人が多い。基礎固めや過去問題に取り組みつつ、自己推薦書の準備を始める。
- 秋**…… 高校の先生などに添削してもらいながら自己推薦書を作成する。また、二次試験の面接練習を開始する。一般入試の対策も同時に進めていたという人も多かった。
- 受験後**…… SA 先の国についての本を読むなどして知識を深める。センター試験を受けた人も多い。

分野優秀者特別入試

国際文化学部で学ぶことを強く希望し、
言語文化、表象文化、地域研究などの各分野
で優れた成果を持つ者

- ～夏前**…… 自分の得意分野を活かせる入試形態を探し、志望校を決定する。受験に必要な資格試験を受ける。高2のうちに資格を取っておけばよかったという声もあった。アピールポイントを増やすためにインターンやボランティアに積極的に参加していた人も。
- 夏休み**…… スピーチコンテストに向けて練習を積むなど、自分の得意分野に力を入れる。一般入試のことも意識して勉強していた人も。また、志望理由書を添削してもらいながら書き進める。
- 秋**…… 一次試験の結果が出る前から面接練習を始める人が多い。自分の将来やりたいことやSA先について詳しく説明できるように準備する。センター試験対策を行っていた人もいる。
- 受験後**…… 最後の高校生活を楽しむ！入学時に受ける TOEFL のために英語の勉強をしたり、自分が決めた第二外国語の勉強を始めたりしていたという人もいた。

NEVER GIVE UP





受験科目別対策



国文生に、勉強のコツを聞いてみました！

— 英語 —

- ・単語や熟語は毎日コツコツ覚える
- ・正誤問題は先に選択肢を読んでから本文を読み進める
- ・長文を読めるようにするために、しっかり和訳をできるようにする
- ・長文で出てきてわからなかった単語はまとめてそのつど覚えるようにする
- ・一つ上のレベルの長文を解くことに慣れるとスムーズに解けるようになる

— 国語 —

- ・漢字や四字熟語など知識を覚える必要のあるものは毎日目を通す
- ・古文は単語と敬語表現を覚えて、主語を常に把握できるようにし、頭の中でイメージしながら読むとよい
- ・現代文は対比の関係で考えるとよい
- ・適度な頻度で問題をこなし、解く感覚を鈍らせないようにする
- ・問題文を先読みして本文を読む

— 世界史 —

- ・タテとヨコの流れを掴む
- ・現代史は差が付きやすい
- ・その時代・国のリーダーを覚えると、その時代になにが起こったか整理しやすい
- ・資料集、地図帳、家系図など目で見て確認すると文章だけで覚えるよりも頭に入りやすい
- ・正誤問題は正しい答えを書き込み活用する
- ・問題集は、問題を読むことも流れを掴む方法として有効な手段になる

— 日本史 —

- ・条例や法律など史料問題対策として史料集や図録などを活用する
- ・将軍や政治家など重要人物は何をした人なのかを細かく確認し理解する
- ・流れを整理するためには自分なりに年表を書くことがオススメ
- ・自分なりにひとつにまとめ、わからなかったことや新しい知識を書き込んでいくとよい

— 数学 —

- ・基礎問題を丁寧に解き理解する
- ・学校で配布された問題集をやり込む
- ・同じ問題を何回もやり込んで完璧に解けるようにすることが大事
- ・公式や解法がなぜそうなるかを理解すると応用問題にも対応できる

— 地理 —

- ・こまめに地図帳を見て自分の頭の中でイメージできるようにする
- ・時事問題に関心を持ち、ニュースや新聞などのメディアに目を向ける
- ・資料集や地図帳、統計を繋げて、統計の背景にある地理的現象を理解する

— 政治経済 —

- ・全体をおおまかに学習していき、復習を重ねながら少しずつ細かいところまで覚えるようにする
- ・新聞を読み、ニュースを見て、時事問題の対策をする
- ・出来事、時代、関連事項をセットで覚える
- ・自分なりに年表や図にして考えてみると理解しやすい
- ・用語の意味を確認しながら勉強を進める



学生座談会

＼国際文化学部生のリアルな声をお届けします／



1年：げんちゃん

SA先：英語圏希望

入試形態：一般入試A・世界史

3年：ちえりこ

SA先：スイス

(2019年度からドイツに変更)

入試形態：SA自己推薦特別入試

2年：やっしー

SA先：韓国

入試形態：SA自己推薦特別入試

みなさん、こんにちは！今日は、3人の国際文化学部のオープンキャンパススタッフに、普段の学生生活から受験生時代のことまで赤裸々に語ってもらおうと思います！

早速質問に移ります！

国際文化学部に入ってどうですか？

げんちゃん：情報の授業が思った以上に多いことに驚きました。まだ必修の授業が多くて…（笑）

ちえりこ・やっしー：1年生だからね～

げんちゃん：でも語学の授業が多いのは、元々語学を勉強したかったので良かったです！

ちえりこ：色々な留学先に行った人がいるから、3年生とかになると、友達と話していても、それぞれの国での体験を聞けるから楽しい。文化を幅広く学べるのが魅力ですね。

やっしー：SAがあることで全員が留学に向けて勉強しているので、語学を勉強したい気持ちが同じくらい強い人が多い！その中で勉強しているのが楽しいです。クラスが少人数ですし他の授業も一緒に受けていて、仲良しです。大学生になって、1人になったらどうしようって怖い気持ちが強かったけど、それがありません。

ちえりこ：他の大学に比べて、留学に行く分、クラス感が強いと思う。

やっしー：それから、2年になって国文の専門科目を多く取れるようになって、これまで全く知らなかったジャンルを知ることができて、授業が楽しい！

ちえりこ：1年生は必修科目が多いけど、学年が上がっていくとどんどん楽しくなってくると思うよ～

げんちゃん：今は、まだ大変です…でも、一般教養も、心理学は楽しい。教職の科目で教育心理学も受けているんですけど、両方とも子供のことなので結構重なっていて理解が深まります！

ちえりこ：国際文化学部は英語、中国語の教員免許がとれるんだよね！

では次に、受けている授業について教えてください！

やっしー：今、受けていて楽しいのは「ポピュラー音楽論」っていう授業です。これまであまり音楽とかに興味が無かったのですが、知識がない状態でも、曲を流して「ここ、こうなっているでしょ」っていうのを言ってくれるので、それが面白いなって思います。この前はE-girlsのMVを見たんですけど、MVを真剣に解説していて(笑)「そういう視点から見られるんだ！」っていう点で面白いなと思います。

げんちゃん：へ～！そういう授業もあるんですね！

ちえりこ：私は「比較文化」っていう授業が楽しいなって思った。この授業では西洋の文学と川端康成の「雪国」を比べていて、この作品は一見平坦なクライマックスがない、でもそれが海外の人には意外性っていう面ですごくうけているとか、自分たちにはない考えでヒットしたとか…！そういうのを有名な作品と比較したりしていて楽しいなって思います。

げんちゃん：「比較文化」の授業が楽しいって聞いたことがあります。受けている友達も確かいる。

やっしー：わたしの友達も受けてる！

どの授業も楽しそうですね！！

そもそも、みなさんはどうして国際文化学部に入ろうと思ったのですか？

げんちゃん：自分は結構語学をたくさん勉強したくて、自分の中では目指せトリリンガ的なノリで(笑)

やっしー：あ～(笑)

げんちゃん：英語はもちろんちゃんと勉強したかったんですけど、他の言語も勉強したかったし。あと、や

っぱり絶対留学ができるから、英語もより話せるようになるかなって思って選びましたね。そういうところではSAが大きいかな。

ちえりこ・やっしー：そうだね～！

やっしー：私も大学入るってなったときに、憧れでどこかの外国語をペラペラにしゃべれるようになりたいなって。あとは留学してみたいって考えていて、それとも合致しているっていうのもありました。それに、語学だけなら専門学校でも最悪できるなあって思って…。

げんちゃん：そうですね～

やっしー：大学で語学以外の勉強もしたいっていう思いもあって、4つのコースから色々な授業を選べるっていう面から、国際文化学部に決めました。

ちえりこ：私はまず文化に興味があって、日本の文化とかを特にヨーロッパの人たちに発信したいっていうのがあった。でもその文化を発信するには日本の文化も知らなきゃいけないけど、相手の事も知らなきゃいけないなって思って、ヨーロッパの中心にあるスイスで学びたいって思ったのと、あとは留学が必修だからいろんな国に行く人たちと知り合いになれるなって。

やっしー・げんちゃん：たしかに！

ちえりこ：それこそ、全国から色々な人が集まっているっていうのが楽しいのかなって思いました。



では次に、受験生時代について聞いてみましょう！

げんちゃん：結構自分は息抜きの時間が長かったと思います。部活も夏までやっていたし、行事も3年の9月いっぱいまでやっていた、そのあとからやっとな受験

勉強を本格的に始めました。勉強ばかりだったら、高校生らしい体験もできなかったと思います。ほどよく息抜きしながらがいいと思う！

やっしー：わたしは、SA自己推薦で入学したのですが、もともと入試全形態を受ける気でいたので、一般入試の勉強もしていました。私も部活をやっていたので部活を引退するまでは、成績を維持するために学校の勉強を中心にやっていました。夏休みに入ってからは、午前中にSA自己推薦の提出書類を先生に出して添削してもらって書き直したり、午後は学校の夏期講習を受けて、そのあとに一般入試対策の勉強をして…一日中学校にいました。18時過ぎくらいに家に帰って、休憩してからまたちょっと宿題をやる。2～3時間自由に好きなK-POPの動画をご褒美としてみたり、アニメ、ドラマを見ていました。

ちえりこ：一般入試と推薦入試の両立って大変だね

やっしー：はい…時間的な問題よりも、精神的に辛かったです。朝はこれ、夜はこれ、って決めていたから、やることは大変ではなかったけど、推薦に合格したら、一般入試の勉強しなくていいのになあっていう気持ちになっちゃって集中できないこともありましたね。

ちえりこ：私も、SA自己推薦で入ったけど、やっしーが言っていたようにやる事よりも精神的に辛かった。「どこにも受からないんじゃないか」って思うこともあったなあ。でも周りの友達とお互いに励まし合っていました。あとは英語の勉強を中心にやっていました。TOEICの勉強とか。

げんちゃん：一般入試は、3科目どれも基礎がちゃんとできればできると思う。赤本を解くよりも、いろんな問題に対応できる基礎力を身につけるほうが大事だったなあと思いました！

やっしー：赤本を夏休みに開いてみて、全然わからなくて、自分を追い詰めちゃったこともありました。見るのはいいけど、「今、解けないのは当たり前」って割り切るのも大事。周りの友達が指定校推薦、専門学校だったから自分以外みんな決まった時期が辛かったな。

げんちゃん：周りの友達って結構大事ですよ。自分の周りにはみんな私立大学の一般入試、国公立大学の受験を目指していたから、クラスの雰囲気は良かったな。

やっぱり受験はそれぞれドラマがありますよね～

それでは最後に、受験生の方に応援メッセージをお願いします！

げんちゃん：さっきも言ったんですけど、基礎の力をつけるのが一番大事なので、基礎をとにかく頑張ってください！精神的に辛くなってくる時が多分くると思うんですけど、息抜きしつつ、うまく頑張ってください！

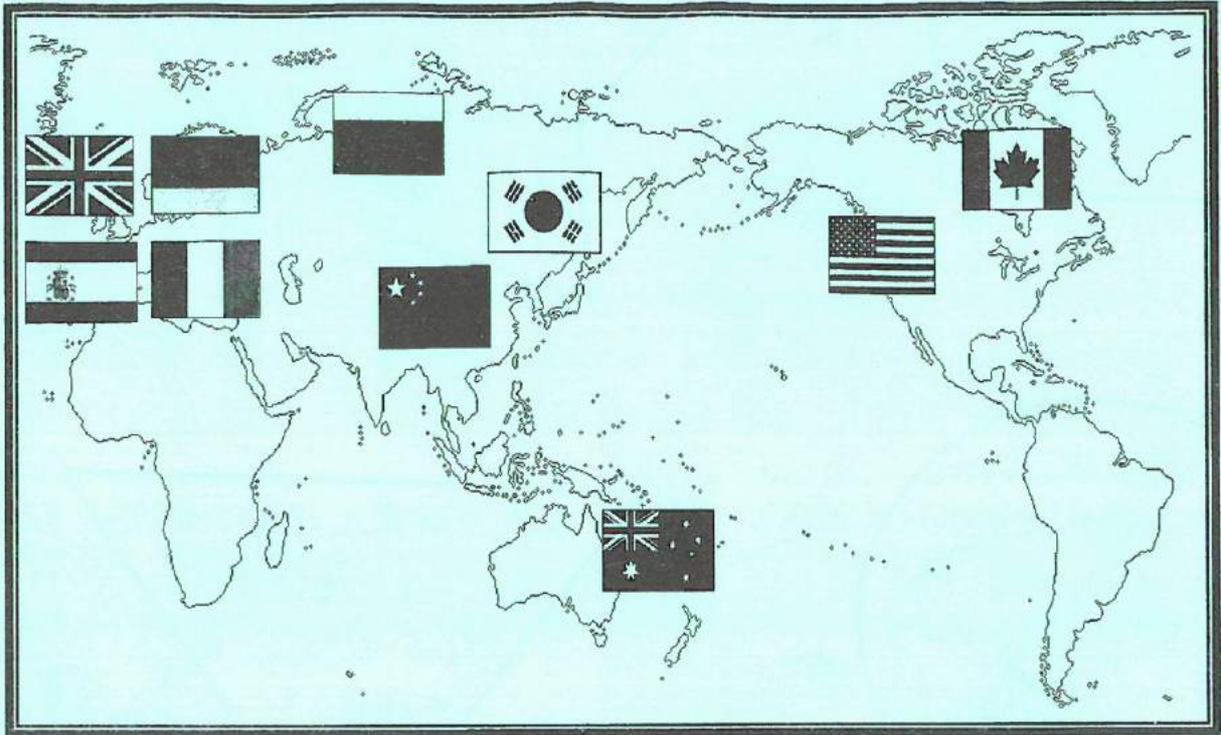
やっしー：SA自己推薦の出願の時、調べ物をいっぱいするよりも、自分が何を勉強したいのかっていうのをまず明確にさせていったのが一番良かったポイントなのかなって思っています。なので、SA自己推薦受ける際はそこをしっかりとって考えるといいかなって思います。あと、国際文化に入ると、本当にあの時頑張った良かったなと思うことが多いですよ！！ぜひ国際文化学部で会いましょう！

ちえりこ：そうですね～！受験となるともちろん不安なこともあると思うし、でもそれを乗り越えたら楽しいことも待っている。でも今の高校生活は今しかないから、学校の授業とか行事も含めて今を楽しんでもらえたらなって思います。そして国際文化学部で待っています！

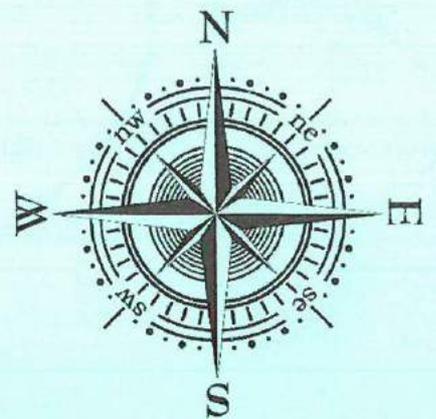


最後までお読みいただきありがとうございました。
今は辛いこともあると思いますが、皆さんと再び法政大学国際文化学部でお会いできるのを楽しみにしています。頑張ってください！

SA 先大学 10カ国 15大学



MEMO



* この冊子を最後まで読んでくださった皆様へ *



楽しい大学生活を精一杯満喫できるように今しっかりと頑張っておきます。来年会いましょう。
3年 かん

Без труда не вынешь и рыбку из пруда.
ロシア語で「苦労をしなれば、池から魚を捕ることはできない」といっ意味です。努力や苦労は、いつか自分のためになるはずですよ！
応援しています。 2年 ひの



勉強も高校生活も後悔のないようにして下え!! 大学へ行てす
Mach's gut 😊
2年 ゆい



99%の努力と1%の息抜きで焦らずやめることをやり切りましょう。最後まで諦めず、自分を信じて全力で頑張ってください。
応援しています。
1年 せいせい

ご采場ありがとうございます!!
受験生活は辛いけど不安に感じない!! 後悔は辛いのじゃない!!
自信を持って最後まで頑張ってください!!
今から頑張る高校生活を頑張ってください!!
2年 かん



ご采場ありがとうございます!!
受験生活は皆つらいと思いつつ頑張っています。でも何かの力になれるものを見つけた!!、楽しく勉強できている感じがいいです!!
自分の目標、スケジュール大学生活のために、頑張ってください!!
1年 りんちゃん



自分を信じよう
めがけに乗り越えよう
下え!! 努力は先に
楽しい大学生活が待っているよ
必ず応援しています!!
Bon courage!! 4年 ゆい



ご采場ありがとうございます!!
今は不安でも一杯も本はないけど、この期間は絶対に良い思い出になるはず!! 自分を信じて最後まで頑張ってください!! 時には息抜きもしてリラックスすることも必ず90%応援しています!!
4年 はるん

ご来場ありがとうございました！
 楽しい大学生活を想像し
 「ながら」焦らずゆくり、
 でも確実に受験勉強に耐
 んでいて下さい！
 応援しています！ハイティング
 4年ぞん



절대로
포기하지 마라!!

♡♡ ご来場ありがとうございました。
 私も2年前 みなさんと同様に種を
 抱えながら毎日と闘っていました。
 不安はのほほは同じです！
 ため、リフレッシュの術を語らせてい
 ね♡楽しい大学生活が必ず来る
 焦らず頑張ろう！2年 とり子



最後まで読んでくれて
 ありがとうございます♡
 高校生という今しかない時を
 楽しんで下さい。そして何より
 健康第一で!!応援しています!
 Ich wünsche dir alles
 Gute♡ 2年 ちり



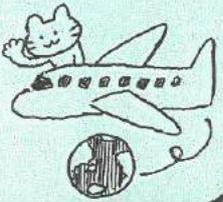
国文での楽しい生活が
 待っています。今は高校生
 にしかできないこと
 を頑張って
 下さい。
 1年 海



自分を信じて、
 コツコツ努力を積み
 重ねれば大丈夫！
 하이팅!!! 2年 ヤッレ



一番頑張る夏にしてください!!
 でも、ときには休むことも
 忘れずに😊
 4年 はんより



..*
 来場のためにあつく頑張れる、
 スキな“今”を過ごしてください!!
 国文で待っています。*.*.*
 Go for it!!
 2年、うら



2018年度オープンキャンパス
 国際文化学部企画一同より